

# JUST NOW JATS

特定非営利活動法人 日本胸部外科学会



CHALLENGE FOR THE FUTURE!

07  
2009-09

第62回日本胸部外科学会 定期学術集会

テーマは、

## 「胸部外科における アートとサイエンス」

開催直前



第62回日本胸部外科学会定期学術集会が10月11日(日)～14日(水)の4日間、パシフィコ横浜にて開催されます。そこで、会長をお務めになる慶應義塾大学の四津良平先生に、学術集会への意気込み・見所を伺いました。

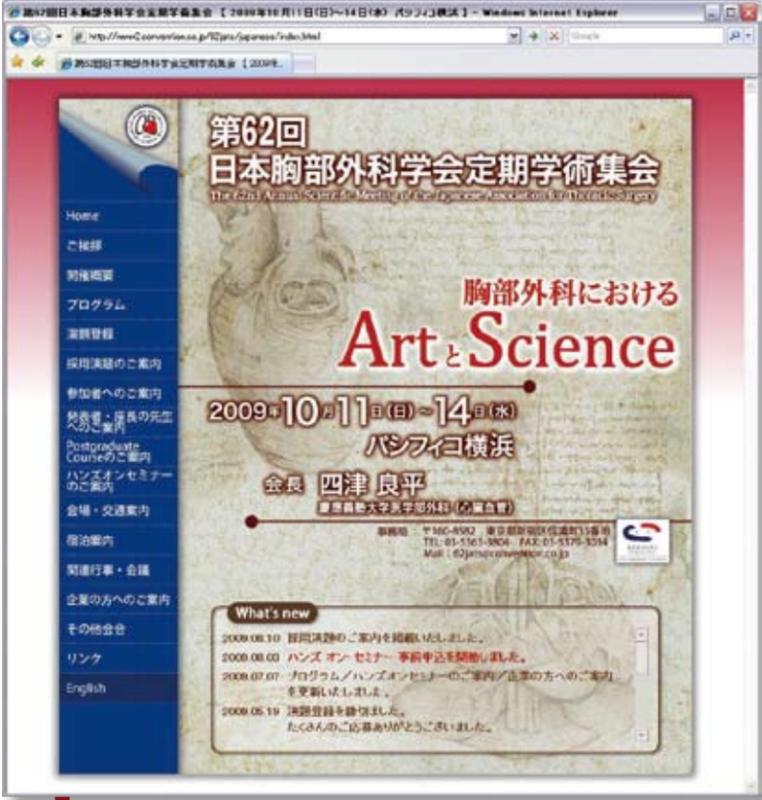
第62回日本胸部外科学会定期学術集会の開催を直前に控え、伝統ある本学会を開催させて頂く責任の重さを強く感じつつ、教室員一

とともに鋭意準備を進めております。今回の学術集会のテーマは、「胸部外科におけるアートとサイエンス」といた

しました。われわれが「心臓、肺、食道」の3領域それぞれの現場において創意工夫しながら築いてきたアートの粋を結集させ、そこで得られた成果を科学的データに基づいて活発に討論し、今後われわれの取るべき将来の方向性を示していきたいと考えています。

お陰様で、シンポジウム・一般演題を含めて1153題とたいへん多数の演題を応募して頂きました。ありがとうございました。

【公式ホームページ】 <http://www2.convention.co.jp/62jats/>  
※「日本胸部外科学会ホームページ」の「トップページ」からもリンクしています



シンポジウム・一般演題を含めて1153題とたいへん多数の演題を応募して頂きました。ありがとうございました。

よる厳正な審査の結果、シンポジウム37題(採択率27.4%)、一般演題(口演・ポスター)530題(56.4%)を採用させて頂きました。特に得点の高かった4題は優秀演題として、また、心臓、肺、食道の各分野から各1題ずつを最優秀演題として選ばせて頂きました。これらには、発表の場において表彰を行わせて頂きます。

### 「日・米の胸部外科学会を語る」

今回の学術集会では、海外において各分野の第一線で活躍されている先生方を30名以上お呼びしております。AATS会長である Peterson 先生には「招請講演」のほかに、「特別企画」として本学会 田林理事長とともに、日・米の胸部外科学会を語る、というタイトルで講演して頂きます。

また、「Postgraduate course」は新規、更新を含め専門医資格の取得にも関係するプログラムです。参加したすべての年代の先生方に満足していただける企画を組みましたので、是非ご期待ください。

また、「特別企画」として、アジア諸国の代表的な先生方に各国における胸部外科医の修練の実態をご発表して頂き、アジア諸国が、職業人としての外科修練に對しお互いに何ができるかを討論していただきます。

そのほかにも、将来の発展を担う若い胸部外科医にとっても、エキスパートにとっても、刺激あふれるさまざまな魅力的な企画を行います。

### 理事会速報

名誉会長・名誉会員・特別会員・評議員の皆様へ

第62回学術集会より評議員会の進行が変わります。評議員会を速やかに進行するため、学術集会の評議員会(平成21年10月11日)に先立ち、平成21年9月25日までに議事資料のホームページへの掲載、およびメール、また郵送により関係者各位にお届け致します。

資料を御覧頂き、ご質問などはメール(jats-adm@umin.ac.jp)あるいはファックス(03-3816-4560)にて同年10月2日までにご送付をお願い致します。頂いたご質問には評議員会にて回答致します。

評議員会は2時間30分以内を目標といたしております。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 日本胸部外科学会

理事長 田林 暁一

第62回日本胸部外科学会 定期学術集会

会長 四津 良平

### 「My Way, Art & Scienceをめぐり」

「会長講演」は、私が心臓血管外科医として歩んできたまでの「道」を「My Way, Art & Scienceを求めて」と題して講演させていただきます。

学会の会期は10月11日(日)～14日(水)、会場は開港150周年を迎える横浜港に隣接した情報発信都市

日17時からを予定していますが、評議員、名誉会員、特別会員の先生方には事前に資料を送付して質問を受けさせて頂き、当日は例年より短い2時間30分以内での効率的な進行を行いたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

会員の皆様の多数のご参加と、あたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。



第62回日本胸部外科学会 定期学術集会  
会長 四津良平  
(慶應義塾大学 外科/心臓血管)

# 名医の素顔

Great doctor's real face

## 02 私のヒマラヤ紀行

いつも厳しいあの先生も、実はこんな一面が…。胸部外科領域の「巨匠・名医」といわれる先生の、仕事ではなかなか見ることができない素顔を少しだけ紹介します。

南 信州で生まれ育った私にとって3000m級の南アルプスや中央アルプスの山々は単に日常的な風景で、山に囲まれたかの地を高校校歌は「都の塵も通い来ぬ」と謳っています。



C1から見た山と氷河

しかし、山懐の生活はあっても、頂上を極めるいわゆる「登山」なぞ夢にも思うことなく、「山」のあなたに、憧憬を抱きながら少年の日々を過ごしていたのでした。

### ヒンズークシ遠征隊に医師として同行要請

大学に入ってから山好きの仲間と知りあい、北アルプスを中心に登山をするようになり、6年生の夏休みも、剣岳の遭難救助隊が常駐している山小屋で、遭難救助や怪我人の手当をしたりしながら1か月以上滞在していました。そのような話も伝わって



7,100米付近で

ドラサンではあちこちから病人が集まるとの交渉の後、ガス王朝の首都であったシルクロードの要地ペシャワールへの移動、さらに有視界飛行で旧チトラル王国に到着。そこからはジープに分乗してキャラバンの出発地ドラサン2000米へと向かったのです。

か、卒業後一般病院で研修をしていて私に石川県勤務者山岳連盟のヒンズークシ遠征隊に医師としての同行が要請されたのでした。

「次第に草木は希薄となり、谷は不毛の水河へと続き、景色は白き神々の座、雪と氷と岩と、そして宇宙へと続く紺碧の空が静かに佇む世界へと変わって行くと」と登頂記。

成田開港初日、私たちはバキスタンへと向かいました。目指すは、アフガニスタンとの国境に位置するヒンズークシ山脈の高峰、過去ユゴスラビ隊のみが登頂に成功した世界100名山の「ツ」イースト・ナル7403米でした。

6月7日 4300米にベイスキャンピング、登攀ルート決定。その後、前進キャンプC1・5100米、C2・5700米、C3・6100米、アタックキャンプC4・6700米と順次建設。と同時に、高所順応も兼ねて連日、10キロを超える物資の荷揚げに励み毎日

私たちが胸を熱くして昨夜の雪で白くなった主峰を見つめました。二度と見るここのないその姿を陰に焼き付け踵を返したのです。一次隊の成功を知ったのはC4に戻ってからでした。

する、アタックか撤退かを決断する、荷揚げと順応のための地道な努力、チーム内で相互の信頼は必要だが依存は危険を招く、手術と外科チームの関係は実に良く登山と似ていると思いませんか。



篠田雅幸 (愛知県がんセンター中央病院院長) 1976年 金沢大学医学部卒業 1983年 愛知県がんセンター外科第二部(肺、食道、乳癌外科) 1996年 同センター中央病院社会復帰部部長 2005年 同センター中央病院副院長 2008年 現職 趣味: テニス、登山 好きな言葉: 誠実

「ごだわり」とは、呼吸器外科医にとって見苦しかったり、日頃から忙しさを進めていくか、できあがりの形をどうするか、いろんなことをイメージしながら患者さん一人一人に臨むことが大切だと思います。

## がん治療に対するごだわり 響きのよい“ごだわり”とは…

アツペの手術した時のことだそう。先輩の先生から、「アツペの手術は、今日は何回目の手術だ？」と聞かれました。その時、梶谷先生は「手術は初めてですが、頭の中で100回切ってきました。」と答えられたそうです。



奥村 栄 (癌研究会有明病院呼吸器外科部長) 1983年 筑波大学医学専門学群 卒業 1983年 三井記念病院 レジデント 1987年 北茨城市立病院外科勤務 1989年 癌研究会附属病院 外科勤務 2005年 大塚から有明に移転し、癌研究会有明病院に同 呼吸器外科副部長 2008年 同 部長 趣味: テニス(今は観戦が9割以上) 好きな漢字: 情と義

「手術は、始まりが終わりですか?」「手術は、患者さんが教えてくれますから」と、ネーベンの時代に中川先生からよく言われました。これはまさに「ごだわり」の2枚の紙色と同じ内容(考え方)です。

「ごだわり」は、各人の表現型(手術手技)は、多少異なっているかも知れませんが、癌研における「ごだわり」のリンパ節郭清がきちんと行われている。それを更に発展させるためには、仲間とのコミュニケーションが必要で、お互いの感ずるところを述べ合うことで、あらたな発想と工夫が生まれ、進化していく可能性があるからです。

「ごだわりの名店」を目標に… 各人の表現型(手術手技)は、多少異なっているかも知れませんが、癌研における「ごだわり」のリンパ節郭清がきちんと行われている。それを更に発展させるためには、仲間とのコミュニケーションが必要で、お互いの感ずるところを述べ合うことで、あらたな発想と工夫が生まれ、進化していく可能性があるからです。

# 今までの軌跡を振り返る ブラックジャックに憧れて…

その頃の研修は今振り返ると大変体系で、1年術後管理の教科書には書いていないような様々な生き方、術後管理のノウハウを教えた。患者さんを見る自信がつかない。ひょんなことから現在の施設にお世話になり、厳しくも温かい指導を受け、開心術の執刀はまもなく750例になり、やっと最近、少しは

間みっちり密度の濃い生活をしました。一ヶ月間毎日OCに泊まったことも、たくさんさんの尊敬できる先輩に出会ったことも大きな財産となり、外科医としての背骨となりました。

「道場」で修行 別の師匠からの「OCは道場や」の言葉も印象に残っています。私なりにアレンジすれば、「OC」ではなく、手術室ももちろん道場です。「お前はラッキーだっただけだ」と言われたこともありますが、それだけで何とかなるほど甘い世界ではありません。わたしなりに「道場」で修行してきましたつもりです。

皆さん初めまして。私は医師5年目、佐賀大学胸部外科に入局して3年目を迎えるようになっています。尊敬する上司のもと、楽しくも厳しく、日々鍛錬の場を与えて頂きながら働いております。

浜崎 安純 (財団法人厚生会仙台厚生病院心臓血管センター心臓血管外科)

卒業大学: 山形大学 山形大学医学部卒業、山形大学大学院入学  
1994年 山形大学心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科チームで研修  
免疫学、寄生虫学教室でアボトシスを研究  
1998年 山形大学大学院卒業 山形県立新庄病院で外科研修  
2002年 国立循環器病センター心臓血管外科レジデント  
2002年より仙台厚生病院心臓血管外科

趣味: オートバイ、マラソン、チェロ 好きな言葉: パランス

## 胸部外科 入局3年目を迎えて 女性の立場より

「手術は初めてですが、頭の中で100回切ってきました。」 土屋先生から聞いた逸話ですが、梶谷先生が初めて入局を決めたとき「もう女を捨てたのも同然やね」とはつきり周囲の友人に言われました(笑)。やはり、外科系、特に胸部外科に対する一般的な印象とはそういうものなのでしょうね。しかし当時付き合っていた同僚の男性が一言、「やりたくない科に行ったら後悔するくらいなら、胸部外科に行けばいいじゃん」とあっさり(笑)。彼はある意味とても大らかで、ウテンキなところもあって、これを言われたとき本当に目の覚める思いでした。いろいろと悩んでいたのが嘘みたいに、心のつかえがとれたのを覚えています。

「ごだわり」は、各人の表現型(手術手技)は、多少異なっているかも知れませんが、癌研における「ごだわり」のリンパ節郭清がきちんと行われている。それを更に発展させるためには、仲間とのコミュニケーションが必要で、お互いの感ずるところを述べ合うことで、あらたな発想と工夫が生まれ、進化していく可能性があるからです。

迫田京佳 (佐賀大学医学部附属病院胸部・心臓血管外科)

2005年 佐賀大学医学部医学科卒業  
2005年 同大学にて2年間の臨床研修(肺、食道、乳癌外科)  
2007年 佐賀大学医学部附属病院胸部外科入局  
2008年 佐世保共済病院外科  
2009年 佐賀大学医学部附属病院胸部外科

趣味: マッサージ、買い物、甘いものを食べる  
好きな言葉: 明日できることは明日する

# 心臓血管外科施設集約化は

## なぜ必要?

大北裕 (日本胸部外科学会施設集約化委員長)

日本胸部外科学会と日本心臓血管外科学会は、本邦心臓血管外科医療システムの構造的課題に対し学会が取り組む重要な課題として「施設集約化」を掲げました。2006年10月にワークショップを共催した後、日本血管外科学会を加えた3学会合同の施設集約化委員会を立ち上げ、心臓血管外科専門医認定機構とともに実証的なデータに基づいて、継続的な検討を行ってまいりました。

集約化の前提となる施設の年間症例数と治療成績の関係については、既に海外の分析では、症例数と治療成績が関連することが示されました。

また、日本の心臓・胸部大血管外科領域においても先行研究と同様、施設症

例数と治療成績が関連することが示されました。

2007年度の日本胸部外科学会学術調査では心臓血管外科558施設中、25例未満は41施設、50例未満は116施設、100例未満は267施設でありました。下段の表に示すごとく、本邦心臓血管外科施設数、専門医数が世界的視野から観ると如何に特異であるか、一目瞭然です。

また、後進育成の観点からも、年間開心術25〜50例、週0.5〜1例では修練医の有効な研修が期待出来ないとの判断も皆様の御同意を得られたと考えています。

このように医療の質、患者の安全、手術数と成績の相関、後進の育成および医療資源の有効活用の観点

- 2009年1月1日から同年12月31日までの心臓胸部大血管(胸腹部大動脈手術を含める)手術数が25例未満の施設は、修練医が新規に専門医を申請するにあたり、翌2010年度における当該施設での心臓胸部大血管手術は経験数としてカウント出来ません。
- 腹部大動脈以下の末梢血管領域の血管外科手術は従来通り、修練施設である限り、修練医の血管外科手術としてカウント可能で、変更はありません。
- 既に専門医を取得されている方は、この限りではなく、専門医更新に際しても、何処の施設においても手術経験数としてカウント可能です。
- また、この措置は、当該施設の心臓胸部大血管手術を抑制するものでは決して無く、教育機関としての必要最低限手術数を目安として、心臓血管外科専門医を目指す修練医のみを対象としています。
- 2010年1月に2009年度の心臓胸部大血管手術数の調査を迅速に行い、2月にはその結果を皆様にお知らせする予定です。
- 日本胸部外科学会学術委員会は毎年、手術の集計を行い、アンケート回収率は95%を達成しています。この結果を参考に今後も集約化のシミュレーション、該当施設への説明など、細かく対応してゆきたいと考えています。

主要先進国の心臓血管外科状況 (2007年現在)

Nations	Population (million)	Institute	Case load	Board certified CV surgeons
Korea	48	50	-	250
US	300	150	500,000	2500
UK	60	49	36,000	220
France	60	63	38,000	240
Germany	80	80	100,000	-
Japan	120	500	55,000	1500

などから、日本胸部外科学会、日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会、心臓血管外科専門医認定機構では左記の決定を行いました。

これらの基準は原則として全国一律ですが、アクセスが不良な地域などについては、日本心臓血管外科学会の各支部長を通じて個別の調整を行う必要があります。

アクセス不良地域の施設の多くは既に種々の問題を有していますが、施設集約化においては地域性を考慮した措置が望まれます。

一方、施設集約化された後、その地域の修練施設の整備、拡充を図ることは喫緊の課題であります。また、今後、年間症例数50例前後の施設基準を検討する

にあたっては、新たなシミュレーションを構築し、慎重に具体策を決定したいと考えています。

今回の決定は学会発症政策の第一歩であり、治療成績の向上と促進と同時に、アクセス改善に取り組むことで地域医療を再構成し、各地域においてより充実した心臓大血管外

科医療を提供することが可能となることでしょう。

今後は患者さんのための最善の医療を提供する責務を果たす中で、心臓血管外科医の労働環境の改善や、心臓血管外科医の専門性に応じたDoctors' Jobの実現に向けて、今後も3学会、機構合同で取り組んでいく予定です。

### 編集後記

News Letterも早いもので第7号となりました。

今回からはChallenge for the futureのタイトルのもと、若い先生から研修、診療、研究の日々について生き生きと語っていただきました。

また、女性の立場から如何に胸部外科医として生きて行くかをご投稿頂き、最近増加している女性外科医の方々に勇気を与

えて頂きました。研修や診療に関わる理念も熱く語って頂きました。1978年のヒマラヤ紀行では医師として参加され、諸事大変だった当時のご苦労と、貴重な経験をご披露頂きました。

それぞれの世代の胸部外科の先生にそれぞれの話題をご提供頂き、日本胸部外科学会の会員の皆様の奥行きを深さを実感いたしました。

私が編集後記を書かせて頂くのはこれがおそらく最終回となりますが、News Letterは今後も本学会会員の親睦を深め、また若い学生、研修医諸君に本学会の有りよう、魅力をお伝えして会員数増加による本会の益々の発展に寄与するようお願いしております。これには会員の先生方のご協力が是非とも必要です。宜しくお願い申し上げます。

広報委員会 委員長 大杉治司

# MAGNA

## Ideal choice for patients

より優れた血行動態および長期遠隔成績を実現するため、生体弁はさらなる進化を遂げました。

カーベンターエドワーズ牛心のう膜生体弁マグナ  
承認番号 22000BZX00724

© 2008 Edwards Lifesciences Limited. All rights reserved. EW-2008-005

Edwards  
LIFESCIENCES

エドワーズライフサイエンス株式会社  
本社：東京都千代田区六番町2番地8 Tel.03-5213-5700 www.edwards.com/jp